

姉妹都市 城下町白石の春を探訪 ～バスツアーを開催～

海老名市が白石市と姉妹都市であることは知っていても、「白石市のことをよく知らない」という方もいらっしゃるでしょう。そこで、ツアーに先立ち、歴史と自然があふれる城下町「白石市」を紹介します。

▽宮城県南端
宮城県の南端に位置し、蔵王連峰と阿武隈山系に囲

市では、姉妹都市・宮城県白石市を巡る、恒例の「しろいし訪問バスツアー」を開催します。

白石城や材木岩など、歴史と自然あふれる城下町の観光や温泉を楽しめるほか、今回は「南蔵王色彩の森」で記念植樹も行います。

白石市の魅力を紹介

まれた白石盆地に中心市街地が形成されています。仙台市と福島市のほぼ中間にあり、古くから交通の要所として発展。城下町として栄えました。

▽海老名市の10倍
面積は本市の約10倍286・47平方キロ。人口は本市の約3分の1、約4万人です。

▽新幹線が自動車で
東北新幹線で白石蔵王駅まで、東京から約2時間。車では東北自動車道白石インターチェンジまで、浦和インターチェンジから約300キロの距離です。

材木岩



高さ65メートルの柱状の岩が幅100メートルにわたって材木を立ち並べたように連なる岩壁です。昔、飛騨の匠が不動堂の堂舎を建てようとしたが果たせず、削った材木を川に捨てたところ、岩になったという伝説があります。

白石城

「独眼竜」で知られる伊達政宗に仕えた片倉小十郎景綱が居を構えたのが白石城です。明治時代に解体されましたが、平成7年に復元されました。城の近くには武家屋敷があり、見学もできます。



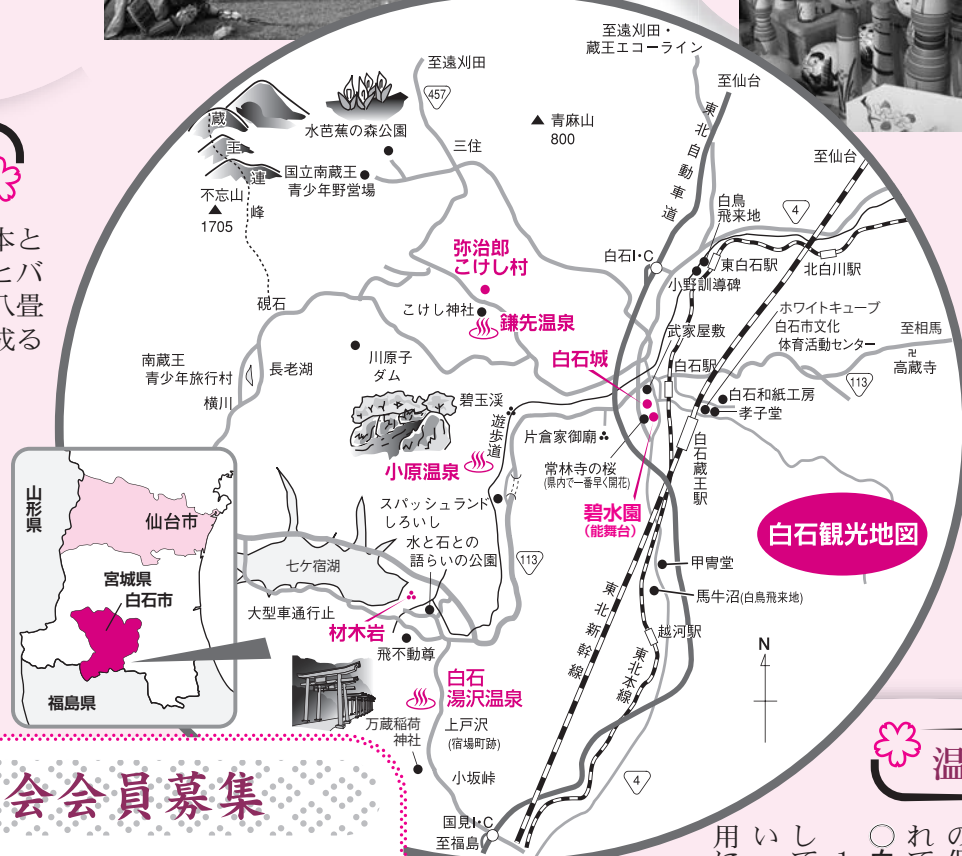
こけし



この地方伝統の「弥治郎こけし」は、ろくろ模様の大きな頭と胴体の特徴です。「弥治郎こけし村」では、展示されているこけしの見学や絵付け体験ができます。

碧水園

京都西本願寺北能舞台を手本とし、吉野産ヒノキの柱、青森ヒバの床板等を用いた能楽堂と、八畳広間、三畳台目小間などから成る茶室があります。



温麺(うーめん)

小麦粉と塩水だけで作る消化の良い麺です。白石市のきれいな水と澄んだ空気は製麺に適しています。



温泉は3つ

- 小原温泉
白石川上流のいで湯。緑豊かな渓谷に面した風光明媚(めいび)な湯の里です。目に効く温泉として親しまれています。
- 鎌先温泉
南蔵王不忘山山頂から下った谷あいの静かな温泉郷。神経痛や病後、手術後の保養に効果があるといわれています。
- 白石湯沢温泉
1200年来、天然自噴している、日本でも数少ない「石膏芒硝泉」です。飲用にも適しています。



鎌先温泉

友好親善交流協会会員募集

白石・海老名友好親善交流協会では、平成22年度の新規会員を4月1日頃から募集します。

同協会は、少年野球・水泳・剣道などのスポーツ交流や小中学生による教育交流、文化交流、市民ツアーなど、さまざまな形で交流支援を行っています。

この機会にぜひ入会をお願いします。

▽年会費 2000円。

◆白石市特選品の配布
同協会会員の方へは、毎年「えびな市民まつり」会場で、白石市特選品詰め合わせを配布しています。

◆白石市訪問時の補助
同協会会員がスポーツ、文化などの交流を行う事業に対し補助を行っています。

◎湯けむり交流助成制度
同協会では、「海老名市湯けむり交

流支援事業」を実施しています。これは、市民レベルでの姉妹都市交流を進めるため、市民の方が、姉妹都市・白石市内の提携温泉旅館(小原温泉・鎌先温泉・白石湯沢温泉)に宿泊する宿泊料の一部を助成するものです。

▽対象 市内在住の方

▽助成額 1泊につき大人(中学生以上)3000円・子ども(4歳〜小学生)1000円 ※湯けむり交流券」を発行。利用は年度内2泊まで。

■提携温泉旅館(5面右下表参照)に直接予約(旅行代理店での申し込みでは利用できません)後、同協会事務局で助成申請してください。申請は家族等宿泊グループごとで、全員の住所・氏名・生年月日・代表者の電話番号を記入。「湯けむり交流利用券」は、チェックインの際に提出してください。

☎ 同協会事務局(市民協働課内) 235・4794。

しろいし訪問バスツアー 参加者募集

- ▽日程 4月21日(土)〜22日(日)(1泊2日)
- ▽対象・定員 市内在住、在勤、在学の方・40人(定員を超えた場合は抽選)
- ▽宿泊地 鎌先温泉(4人相部屋)
- ▽見学地 白石城・材木岩公園・碧水園など
- ▽植樹 南蔵王色彩の森(不伐の森)
- ▽参加者負担金 1万円(未就学児は無料。なお、湯けむり交流助成券を利用します)。
- 4月5日(日)必着で、往復はがきに氏名・住所・性別・年齢・電話番号を明記し、〒243-0492政策事業推進課「しろいし訪問バスツアー」係へ。参加の可否は4月7日(日)以降にはがきで連絡。
- ※グループで参加希望の場合は、代表者名で応募しメンバー全員の必要事項を明記してください。
- バスツアー
市民協働課 ☎235・4794、植樹政策事業推進課 ☎235・4635。



昨年の植樹の様子